

研究を知る × 人を知る

NIED Interview

防災科研で働く研究者をご紹介します。
研究のことから趣味にいたるまでお聞きしました。



フランスご出身ですが、どうして日本にいらしたのですか。

フランスのパリ近郊のナンテール生まれ、育ったのはフランス本土の真ん中あたりにあるオーヴェルニュ地方です。オーヴェルニュ火山帯地方自然公園で有名なところ。学部時代は、地盤工学のエンジニアになろうと思っていました。修士課程で地震学を学んで、色々なところにたくさん旅行できて楽しいだろうと思ったので、パリ地球物理研究所 (IPGP : Institut de Physique du Globe de Paris) に進みました。その後、地震の微動観測がやりたくて日本に来て、今年3年目です。防災科研に来る前は、東京大学理学系研究科の井出研究室地震科学研究グループに所属していました。当時、ニュージーランドで観測され、それが見たかったんです。微動は、今でも続いていて、その地震についてもたくさんシミュレーションしています。ニュージーランドの地震を日本

で研究しているんですよ。

防災科研に来たきっかけは、当時の研究室の教授から防災科研を勧められたことでした。

日本人から見ると、フランスで地震の研究が行われているのは意外な印象があるようですが、フランスには、活火山がいくつもあります。カリブ海の仏領マルティニーク島にあるプレー山 (Montagne Pelée) や、マダガスカル島近くの仏領レユニオン島のフルネーズ山 (Piton de la Fournaise) などです。ですから、地震学は盛んに研究されています。また、フランスは、植民地があったので、地質図作成が歴史的に盛んで、それが現代の地球科学につながっています。日本ほどの人数ではありませんが、地震学の研究者はたくさんいます。活火山の観測には、たくさんの地震学の知識が応用されていますが、現代のフランスにはたくさんの原子力発電所があり、そのため地震学の研究も必要とされています。国境を

越える監視にも地震学が応用されていて、それを専門にする研究所もあります。

防災科研で研究していることを教えてください。

私の専門は地震物理学です。地震の数理モデルを作って地震のシミュレーションを行おうとしています。地震計を使って地震を観測する研究を行う人もいますが、私は、断層破壊過程のモデルを作り、シミュレーションを通じて断層形状と地震発生過程の関係を明らかにしたいと思っています。なので、PCでのプログラミングなどが中心の毎日です。

今後、どんな研究をしたいですか。

とても難しい質問ですね。特にゴールがあるわけではないですが、みんなが自分の研究を認めてくれるととてもうれしいです。

ピエールさん
ってこんな人

地震津波防災研究部門 特別研究員

ロマネ・ピエール・クリスチャン・ジョージ

ROMANET Pierre Christian Georges

ロレーヌ工科大学ナンシー校、パリ地球物理研究所を経て日本へ。
2021年4月より現職。専門は地震物理学。趣味は博士課程の時に始めたクライミング。富士山や谷川岳にも登ったそうです。

